

## 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

各種の報告書等から、今後の理科教育に必要な事項を整理したことにより、課題が挙げられ、その解決のための方策を基にして、新しい理科カリキュラムの構築を行った。

領域別の系統性	…
総合的な科学の理解	…
観察、実験の重視と日常生活との結び付け	…

については、学びの系統性を生かした4領域別の指導（表1 853ページ参照）や発展的な学習や補充的な学習の位置付けによる学びの定着を図るようにした。

については、総合的な科学の理解のための履修科目の設定（表2 857ページ参照）や日常生活との結び付けられる特別科目サイエンスを設定した。

については、系統性のある観察、実験の重視した指導計画（表4 859ページ参照）や見通しがもて学びを振り返ることができる学習計画（表5 861ページ参照）を作成した。

### 2 今後の課題

本研究は、中高一貫教育の特色である6年間の学びの系統性を生かした理科カリキュラムの構築を目指した開発研究である。各種報告書から挙げられている事項を整理することにより、現在の理科教育における課題がみえ、解決の方策を先進校の実践などから考えることができた。また、SSHの指定を受けている高等学校の発表や報告書、パネルディスカッションなどから、解決の方策を探ることもできた。今後については、本カリキュラムの有効性について実践を通して確認していきたい。

- ( 1 群馬県総合教育センター 『理科教育フォーラム』2003 )
- ( 2 文部科学省 『科学技術に関する意識調査』2001 )
- ( 3 中央中等教育学校 『理科の目標』2004 )
- ( 4 群馬県立高崎高等学校 『スーパーサイエンスハイスクール』 - 平成14年度研究開発実施報告書 - 2003 )

### 参考文献

- 文部省 『小学校学習指導要領解説 理科編』 東洋館出版社(1999)
- 文部省 『中学校学習指導要領解説 理科編』 大日本図書(1999)
- 文部省 『高等学校学習指導要領解説 理科編・理数編』 大日本図書(1999)
- 国立教育政策研究所 編 『生きるための知識と技能』 - OECD生徒の学習到達度調査(PISA) - ぎょうせい
- 群馬県立高崎高等学校 『スーパーサイエンスハイスクール』 - 平成14年度研究開発実施報告書 - (2003)
- 国立教育政策研究所 編 『数学教育・理科教育の国際比較』 - 第3回国際数学・理科教育調査の第2段階調査報告書 - ぎょうせい
- 国立教育政策研究所 編 『理科系教科のカリキュラムの改善に関する研究』